



## 兜の飾り方

### 各部の名称

**1**

#### 芯木を置く

左の写真のように芯木を櫃の中心よりやや手前に置きます。

**2**

#### 袱紗を置く

左の写真のように袱紗を芯木に変型にかけます。(絵柄や家紋のある袱紗は、絵柄を正面にします。)

**3**

#### 鍬形を差す

鍬形を左右の受け口に差し込みます。剣先が外側になるように差し込んでください。



平鍬形台の際に鷹旗(りゅうず)を差すタイプもあります。

**○**

#### 正しい飾り方

**×**

#### 間違った飾り方

**4**

#### 兜を袱紗の上に飾る

左の写真のように袱紗の上に兜をのせます。前後左右の傾きを調節します。少し離れたところからもう一度チェックして、形を整えます。



## 五月人形豆知識 ②

### はちまんざ 八幡座

兜飾りのでっぺんを見てください。

円い穴があいていますね。これは天辺(てへん)といって、兜をかぶった時に頭が隠れないようにわざとあけてあるのです。

いけば、兜の換気口と言うわけです。その穴のまわりを緑どっている金鍔の葵型形の座と菊座玉縁を施してある金具のことを「八幡座(はちまんざ)」と言います。八幡座は神の住む神聖な場所と言われ、天辺の穴に指を入れることは固く禁じられていたそうです。



### 付属品について

ダンボール箱の底に付属品を入れる付属箱が収納されています。種を取り出した後よく確かめてください。



\*付属箱の付いていないタイプの商品もあります。